

ぽけっとのドアを開けたとたん、「アンパンマン！」と元気に飛び込んでくるお友だちがいます。「いつもアンパンマンのダンスを楽しみにしているんです」とママ。毎日行っているふれあい遊び♪いいこといいこと♪を、楽しみに来てくださる方も多く、嬉しく思っています。アンパンマンのダンスは、ぽけっとが始まって以来ほぼ毎日。そろそろ違うダンスを…と試みたこともありますが、決まって子どもたちから「アンパンマンは？」と物足りなさそうに聞かれ、とうとう約4年間踊り続けてしまいました。アンパンマンの魅力もさることながら、「繰り返し」「継続」することの効果も感じます。

最初は動かずに、先生やお友だちが踊るのをじーっと見つめているだけの子が、**溜めて溜めてあるとき身体が動き出す!**ということも多く、まずは**見て、感じて、膨らませて、表に出す**というとても大切なプロセスを見せていただいているように感じます。そのプロセスは**お子さんによってそれぞれ違う**ところが、またおもしろいですね。

♪いいこといいこと♪は、ふれあい遊びの紹介や、いつもはママが読んでくれる絵本をママと一緒にみる喜び、みんなと同じ空間で同じことを楽しむことの喜び(共感)など**目的はいろいろ**ありますが、子どもたちの好きなことや興味はそれぞれ全く違うので、**必ずやらなくてはならないものではありません**。輪から離れたところからちらっと見たり、**少しずつ**耳に入ったり、**好きなものだけ**参加するのでも意味があります。お子さんは**参加しなくてもママが楽しんでいるのを見て「やってみようかな」という気持ち**をくすぐることもあります。**ほんの少し心が動けばそれでいい**のです。今の時期は、まず**自発的に、喜びをもってやってみようとする**ことが**お子さんを豊かに**します。「やらせなければ…」と大人が強制することは、負担になったり、本当に自分がやりたいことがわからなくなってしまいうことも…。**♪いいこといいこと♪は、どうぞママも楽しんでください!**「今日はつまらなかった」というご意見も有り。「こんなことやって欲しい」というリクエストも**大歓迎**です!

センター長 山浦彩子(やまうら あやこ)

◆♪いいこといいこと♪

「ふれあい遊び」毎日 11:00-11:30

〈第1第2水曜〉えいごで遊ぼう

〈第2第4木曜〉おやこでダンス (近ゆきこ先生)

〈第2火・水〉マニスのお話し会 (丸山さちこ先生)

◆「0歳児つどいの広場」毎週木曜 10:00-11:00



休館日・閉館時間

◆大掃除

6/29(金)
※広場は11:00~

◆休館日

日曜・月曜・祝日

◆職員会議 6/16(土)

※広場・一時預かりのご利用は9:00-13:00になります



いいこといいこと♪
広場の遊びから

勇氣の源はみなさんの笑顔です!

「やすこ先生の専門は、なんですか?」
そんなママの問いかけに、ドキッとしていた私。壁にぶつかる度に、勉強をしたり保育士資格を取得したり…近頃やっと「子育て支援活動をしています」と自己紹介できるようにになりました。

子育て支援と一口にいっても、活動の幅は無限大。子どもたちの可能性も無限大。子育てには無限大の希望と夢がひろがっています。とはいえ、スーパーマーケットで「キャンディを買って〜!」とねだる子どもに困り果てる毎日。プレーメンの街角の小さなスーパーのキャンディー売り場で、ダダをこねている子どもをなだめながら(もちろんドイツ語!)立ち去る親子の姿に、葉山のママと同じだなんて思いました。子育ての「困った」は世界共通だと思いました。無限大の夢と希望…でも困り果てる毎日。もしかすると世界中のママたちが、そんな無限大の子育ての難しさと同じ向き合っているのかもしれない。

我が家の2歳になるクロエ(ゴールデンラブ)は、災害救助犬を目指して訓練中。「今日は「かくれんぼ」と「吠えろ」の練習をしました。頑張ってますよ。」との先生の言葉に、家では甘えん坊でいいかと思っていましたが…つい「ダメ!ダメダメ!!」の連発、ワンコ育てでさえエスカレートのはまってしまう。本当に、理屈ではわかっている、上手いかわからないのが現実なんですね。

♪いいこといいこと♪の後など、ひろばでおしゃべりする機会がありましたら、どうぞ励ましてください。毎日の現実に立ち向かう、勇氣の源はみなさんの笑顔です!これからもみなさんと一緒に、希望を胸に歩んで行けたらうれしいです。



◆野北 康子(のきた やすこ=ヤスコ先生) カミナリ・広場 担当 ◆

一時預かり
ぷちのお部屋から

みんなが笑顔になれる場所♥

娘が幼稚園に行っている時間を**有意義に過ごしたい**と思い、昨年11月から火曜日と水曜日に**ぷち**でお手伝いさせていただいています。**人と接するのが好き**で親子サークルなどに積極的に参加してきたおかげか、**信頼できるママ友**がたくさんできたことに**感謝する毎日**です。

でも時として、子どもに**イライラ**して怒ったり、子ども同士の**成長を比べて**しまったり、周囲の何気ない言葉に**傷ついたり**と様々な思いが交錯します。そんなときの**私の解決法**は「とにかく誰かに話を聞いてもらう」。その気分がさえない時は、『**おかあさんがもっと自分を好きになる本**』(北村年子 著)に目を落とします。

子どもに、「そのままのあなたでいいんだよ」と伝えるように、**ママもありのままがいい**。そんな言葉を目でなぞると、**心がすーっと優しい**気持ちになれる本です。そうしたさまざまな力を借りながら、お預かりするお子さんは

もちろんのこと、ママも「**預けて良かった**」と笑顔に★

★**なれる場所**であるように、これからも努めていきたいと思えます。



◆柴崎 ちさと(しばさき ちさと=チイ先生) ぷち 担当 ◆



ぽけっと



「ゆっくりでもいい」
「じゃあなくてでもいい」
きらりと光るものをたいせつに
子どもといっしょに歩みましょう！

お子さんの発達が順調ではないと感じたら、親は心配して不安になります。それはみんな同じ。とても自然なことです。たださえ孤立しやすい子育て中のお母さんにとって、そうした悩みをひとりで抱えることは悩みをますます深めることになります。お子さんの成長のしかたや個性はさまざま、親の感じ方考え方もさまざま…もしかしたら悩む必要のないときもあるのでは？ また、みんなといっしょだったら、解決法が見つかったりいろいろな個性があって良いと思えるかもしれません。ぽけっとは、子育てに困難さを感じていらっしゃる親子の活動をお手伝いする「余暇支援活動」を、昨夏より始めました。今年5月からは毎月定期的に遊び場を提供していくことになりました。「結(ゆい)」（こどものそだちをみまもる会）主催の「きらきらホリデー」は、毎月第2土曜14:00～16:00にぽけっとのみんなの部屋で開催します。5月26日(土)には初回が開かれて、みんなの部屋からお庭や広場へ出て元気に遊ぶお子さんの姿が見られました。みなさんもぜひこの機会に交流していただきたいと思っています。



「ゆい」主催の遊び場が「ぽけっと」で
定期的に開かれることになりました！
「きらきらホリデー」は毎月第2土曜日です♪



きらきら ホリデー

毎月 第2土曜日
14:00 ~ 16:00
ぽけっと みんなの部屋にて

5月26日(土)に行われた
第1回「きらきらホリデー」。
これからは毎月第2土曜日に
定期的に開催します♪

きらきら  ホリデー



昨年8月に「余暇支援活動」として
ぽけっとで行われた水遊び。
お庭にプールをつくりました！

 ふあみさほ
ファミリー・サポート・センター

もうすぐ、紫陽花の花の季節ですね。ピンクや薄紫のお花の色もとどりに、ぽけっとへの小道を飾ります。傘をさして長靴はいて…かたつむりをさがしながらのお散歩は、雨の季節ならではの楽しみです。

さて、東日本大震災の折には、葉山町でも停電や通信機器が繋がらない状況になりました。そこで、ファミリー・サポート・センターでは、災害時の対応について下記のような確認をお願いしています。

- ◆援助活動直前に災害が起きた場合→連絡がとれない場合、状況に応じて活動は中止。
 - ◆援助活動中に、災害が起きた場合→保護者が迎えにくるまで預かる。万が一の場合、援助物資の届く避難場所に避難する。
 - ◆援助活動の確認をすること→お互いの避難場所・伝言ダイヤルの活用方法など。
- 災害時伝言ダイヤル171の使い方 ■
- 171 → 伝言を録音する 1 → 自宅番号をダイヤル (000)-000-0000
→ 伝言を吹き込む
- 伝言を再生する 2 → 自宅番号をダイヤル (000)-000-0000
→ 伝言を聞く

6月から新しいアドバイザーに磯村りか先生が着任しました。どうぞ、よろしく願いいたします。なにかありましたら、お気軽にお問い合わせください。



アドバイザー一同

子育てをこころの発達から考える
 **子のこころ 親のこころ**

「認めてもらいたい」…自分づくりは思春期も幼児期も同じ
先日、思春期の娘をもつ母同士の集まりでのこと。「娘の態度に腹が立ってしかたがない」と一人が話し始めたら、「ウチも」「ウチも」と大いに盛り上がりました。「あんなに素直だったのになぜ？」個人差はあっても小学校高学年から中・高にかけて、親から見ると不適切な行動が目につきます。外ではさほどでもないのに、家では生意気な態度や言動。そのくせだらだらして動かない、注意されるとふてくされる…そんな態度に母たちは傷ついていたのですね。
思春期は、精神的な自立をしようと自分づくり(自我の発達)が盛んな時期。親の存在を無視できないからこそ、反発して我を通そうとします。認めてもらいたい気持ちが人一倍つよいのにならぬ…葛藤が多くて「もやもや」「イライラ」。身体の成長も著しい(寝ている間に背が伸びる)ため眠くてだらだら…こころの中は反抗期の幼児みたくに混沌とした状態です。それでも外見は大人顔負けに成長しているのだから、「だらしない。しっかりなさい！」と叱りたくなるのも無理からぬ話。ただ、叱られてしまうと余計に反抗したいやる気になつたり…「こんなはずではないのに」と子どもも傷つき自信がもてません。

この時期の我が子が親がしてやれること…それも幼児期とあまり変わらないかもしれません。「やってみてごらん」と子どもを信じて見守る…自分の生き方を懸命に模索しているのだから、経験豊かな大人の価値観を押しつけたい失敗しないよう先回りするのではなく、下手でも自分で考えてやり遂げるのを待ちたい。そして、失敗したときこそ「ありのままを(できなくても)愛している」というメッセージを伝えて勇気づけたい。第2次反抗期といわれるように、思春期は「親から分離した自分のこころ」をつくる意味では1～3歳頃の第1次反抗期と同じ。自分のありのまま(自己主張)を認めてもらうことで、自信を深めて成長します…「抱っこ」や「遊んで」とシンプルに求めてくる年頃ではないだけに、どう受けとめて認めるかは親の思案のしどころでしょうか。

◆上野 祐子(うえの ゆうこ) 副センター長・心理相談担当 ◆